



エコアクション21
認証・登録番号 0006212

エコアクション21

環境活動レポート

活動期間：2014年4月～2015年3月



 千葉スバル自動車株式会社

作成日：2015年10月31日

【1】会社概要

(1) 事業所名

千葉スバル自動車株式会社



(2) 所在地

千葉県千葉市美浜区新港176-2

(3) 代表者氏名

代表取締役社長 山本 本山

(4) 環境管理責任者及びEA21事務局連絡先

環境管理責任者	取締役 管理本部副本部長	山本 喜久
EA21推進事務局	総務部 部長	中嶋 弘幸
	お客様サポート室 室長	椎名 功
	経理課 課長	坂井 精一
	業務課	千葉 英一郎
	IT企画推進課	宮野 友厚
	人事教育課	石川 智

連絡先	電話	043-243-2292
	FAX	043-203-0120
URL	http://www.chibasubaru.com/	



(5) 事業の内容

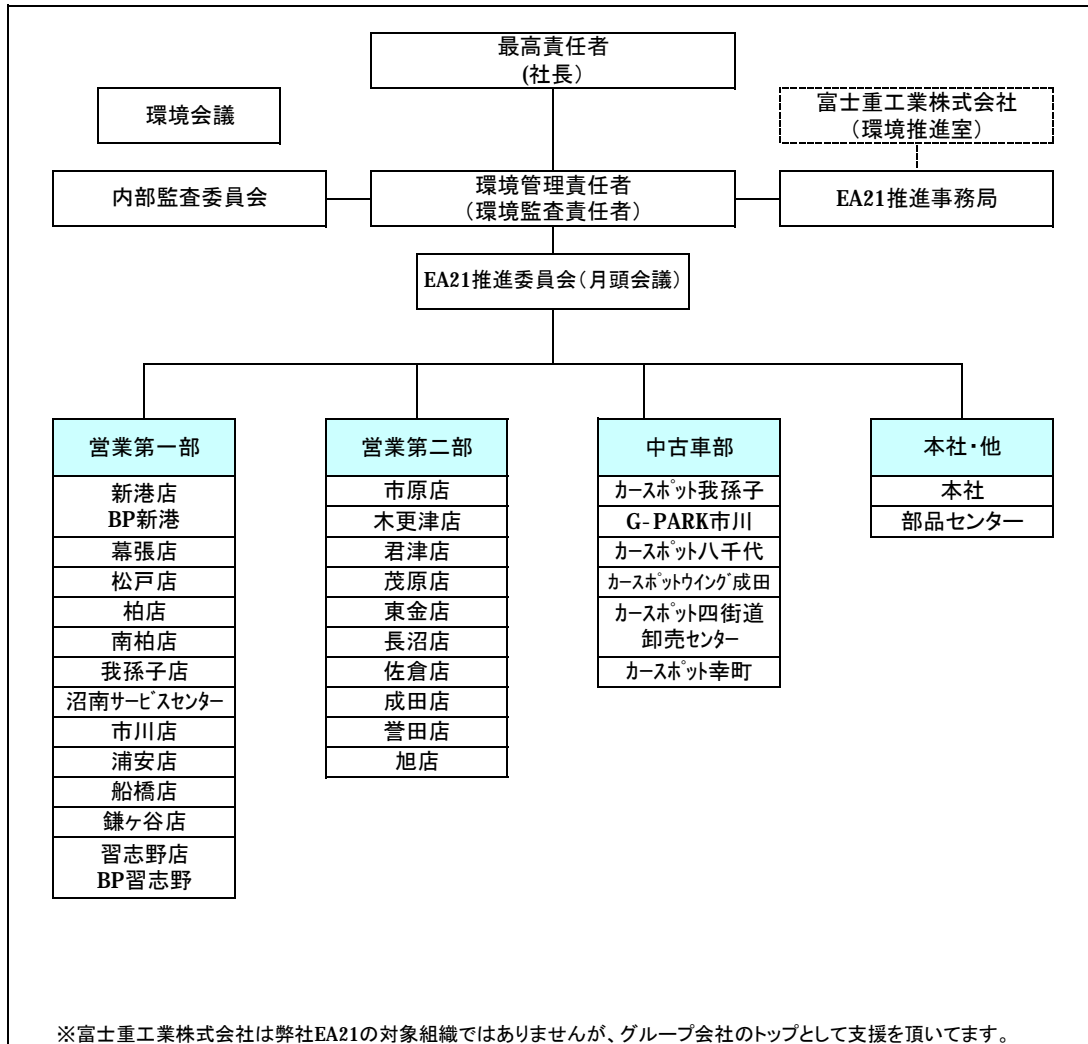
スバル全車種新車・中古車の販売
部品・用品の販売
点検・整備

钣金塗装
自動車リース
損害保険代理店業務

(6) 事業の規模

・売上高	261億円	(2014年度)
・新車販売台数	7,416台	(2014年度)
・中古車販売台数	5,670台	(2014年度)
・従業員数(派遣・パート等含む)	468人	(2015年10月31日現在)
・店舗数	本社	1
	新車販売	21
	中古車販売	8
	その他	5

(7) EA21推進組織図



(8) EA21対象拠点一覧

千葉スバル自動車は全組織・全活動を対象としてエコアクション21に取り組んでいます。

事業所名	郵便番号	住所	責任者	電話番号	FAX番号	面積(坪)		正社員				非正規	総合計	組織区分
						土地	建物	セールス	メカニック	その他	総数			
1 本社	261-0002	千葉市美浜区新港176-2	中嶋 弘幸	043-243-2292	043-203-0120	2503.4	1014.9			51	51	1	52	A
2 新港店			増田 智哉	043-242-5111	043-238-1350			10	10	10	30	1	31	C
3 BIP新港			小川 信浩		043-238-1351				5	2	7		7	E
4 部品センター			石渡 徹	043-242-5161	043-204-7058				11	11	3	14	A	
5 幕張店	262-0032	千葉市花見川区幕張町5-417-354	荒川 幸一	043-213-3800	043-213-3805	1000.1	458.5	5	5	4	14	14	C	
6 松戸店	271-0065	松戸市南花島2-22-2	小野寺 猛	047-363-6111	047-330-1187	364.9	150.1	5	5	5	15	1	16	C
7 柏店	277-0871	柏市若葉91-16	谷 勇輝	04-7133-7231	04-7140-8054	825.2	193.7	7	6	9	22		22	C
8 南柏店	277-0856	柏市新富町1-1-11	高橋 康	04-7147-5900	04-7147-5905	930.2	333.7	5	5	5	15		15	C
9 我孫子店	270-1152	我孫子市寿2-25-47	渡邊 正洋	04-7185-5050	04-7181-1137	316.7	121.2	4	1	4	9		9	C
10 沼南サービスセンター	277-0922	柏市大島田127-1	岡本 尚夫	04-7193-3700	04-7193-3710	222.6	109.8		5	1	6		6	D
11 市川店	272-0015	市川市鬼高4-7-5	村松 秀貴	047-378-1261	047-320-3241	700.0	323.3	8	7	6	21	1	22	C
12 浦安店	279-0004	浦安市北栄4-20-8	我妻 貴臣	047-353-2111	047-390-6450	435.3	260.9	4	5	5	14		14	C
13 船橋店	273-0001	船橋市市場2-9-19	神谷 剛	047-423-6631	047-426-8320	656.7	196.9	7	6	6	19		19	C
14 鎌ヶ谷店	273-0115	鎌ヶ谷市東道野辺5-9-19	景山 直人	047-442-1211	047-498-5055	1068.0	524.0	5	5	5	15	1	16	C
15 習志野店	275-0001	習志野市東習志野6-16-43	伊沢 太郎	047-473-2171	047-470-1455	999.2	481.3	6	6	8	20		20	C
16 BIP習志野			仲野 正浩					5	2	7	7	E		
17 市原店	290-0050	市原市更観2-3-1	上田 哲也	0436-21-7611	0436-20-1121	1324.0	595.0	8	5	7	20		20	C
18 木更津店	292-0014	木更津市高柳952	遠藤 辰一	0438-23-0321	0438-20-1039	986.0	193.6	9	5	6	20		20	C
19 君津店	299-1163	君津市圭師4-2-7	根本 雅之	0439-55-7200	0439-50-1288	485.4	137.0	3	4	3	10		10	C
20 茂原店	297-0074	茂原市小林1732	廣田 芳和	0475-22-5271	0475-20-1090	632.2	209.4	5	4	5	14		14	C
21 東金店	289-1327	山武市姫島141-1	大塚 智史	0475-82-7221	0475-80-1005	591.4	167.1	5	4	4	13		13	C
22 長沼店	263-0001	千葉市稲毛区長沼原町725	菊地 猛	043-250-3791	043-298-9045	966.4	342.7	5	4	5	14		14	C
23 佐倉店	285-0837	佐倉市王子台5-4-1	玉垣 貴宏	043-462-5500	043-460-1575	384.5	202.6	5	5	5	15		15	C
24 成田店	286-0046	成田市仲11-31	長野 正幸	0476-22-6811	0476-20-1043	1032.3	210.5	7	6	8	21	1	22	C
25 誉田店	266-0005	千葉市緑区誉田町1-392-3	下川 久幸	043-292-6601	043-226-9032	429.1	178.0	4	5	5	14		14	C
26 旭店	289-2535	旭市川口3494-6	成毛 健一	0479-64-2111	0479-60-1031	304.7	153.3	1	2	5	8		8	C
27 カースポット我孫子	270-1177	我孫子市柴崎28-3	押切 裕之	04-7183-0611	04-7183-7282	1004.3	60.5	3	2	2	7		7	C
28 G-PARK市川	272-0015	市川市鬼高4-7-4	小林 満	047-378-6021	047-300-8575	703.0	55.2	3			3		3	B
29 カースポット八千代	276-0037	八千代市高津東4-7-11	菅野 英俊	047-487-0486	047-487-0520	608.0	67.6	3	1	1	5		5	C
30 カースポットウイング成田	286-0029	成田市ウイング土屋113	瀧澤 昌吾	0476-22-8810	0476-22-8911	461.9	69.3	3	1	1	5		5	C
31 カースポット四街道	284-0041	四街道市上野346-14	栗山 浩一	043-433-8500	043-433-8501	2330.8	23.5	3			3		3	B
32 卸売センター			福土 雅聡	043-433-8505	043-433-8501		17.2	2	5	7	7	A		
33 カースポット幸町	261-0001	千葉市美浜区幸町2-20-32	木下 真哉	043-243-1321	043-243-2625	752.9	176.3	4			4		4	B

139 124 196 459 9 468

組織区分の意味

- A=オフィス業務(事務所業務)
- B=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)
- C=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)+整備業務
- D=オフィス業務+整備業務
- E=オフィス業務+钣金塗装

※社員数は平成27年10月31日現在

【2】環境方針

《基本理念》

当社はスバル車の販売やサービス活動の環境影響をいつも考え、車が人や社会や自然とよく調和するよう、環境保全活動を進めます。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行なう自動車および部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO₂削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用する環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取組み、必要があれば見直しを行います。
 - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
 - ②省資源（水使用量、紙使用量）
 - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
 - ④化学物質管理の強化（PRTR法関連、VOC対策）
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥自動車廃棄部品のリサイクル
 - ⑦拠点周辺の清掃を積極的に行ない、地域の環境改善に貢献する
5. この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。



平成22年4月1日制定

（平成23年4月1日改訂）

千葉スバル自動車株式会社

代表取締役社長 山本 本山

【3】環境目標

当社は環境への負荷が大きいと考えられる《エネルギー使用量》《廃棄物の排出量》
《紙(コピー用紙)の使用量》《水使用量》を把握し、削減活動に重点をおきます。
同時に、リサイクルの推進を積極的に行います。

◆環境目標 全社合計◆ (削減率は各店舗統一としています)

電気使用量のCO2排出係数 : 0.021 (kg-CO2/kWh)

* 全ての年度で上記係数を使用し二酸化炭素排出量を計算しています。

当社は地球環境に配慮し、CO2排出量の少ない
自然エネルギー発電の電力会社より電力を購入しています。

取組項目	単位	2013年度実績 (基準年度)	2014年度目標	2014年度実績	2015年度目標 (次年度)	2016年度目標 (次々年度)	
電気使用量 (削減率)	kWh	2,515,441	2,490,286 1%	2,578,500	2,465,132 2%	2,439,977 3%	
燃料	ガソリン (削減率)	L	227,890	225,611 1%	226,947	223,332 2%	221,053 3%
	灯油 (削減率)	L	2,929	2,899 1%	2,501	2,870 2%	2,841 3%
	軽油 (削減率)	L	34,475	34,130 1%	30,963	33,785 2%	33,440 3%
	LPG (削減率)	kg	24,289	24,043 1%	22,329	23,803 2%	23,560 3%
	都市ガス (削減率)	m ³	135,112	133,760 1%	134,485	132,409 2%	131,058 3%
紙(コピー用紙) (削減率)	枚	3,927,500	3,888,225 1%	4,121,000	3,848,950 2%	3,809,675 3%	
水使用量 (削減率)	m ³	21,593	21,377 1%	20,970	21,161 2%	20,945 3%	
産業廃棄物 (削減率)	t	621.62	615.40 1%	714.88	609.18 2%	602.97 3%	
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-CO ₂	1,037,472	1,027,081 1%	1,019,115	1,016,715 2%	1,006,340 3%	

※2014年度以降の環境目標(中期3ヵ年)は、2013年度の実績値を基準年度としました。

定性的又は行動環境目標	内容
グリーン購入の推進	グリーン購入対象商品の積極的購入
自動車廃棄部品の徹底管理	廃バンパーのリサイクル、廃バッテリーの適正処理
環境関連法の順守	法規制・社内基準の順守、関係者への教育
化学物質管理の徹底	法規制・社内基準の順守、関係者への教育
拠点での社会貢献・環境改善活動の推進	エコキャップ運動、事業所周辺の清掃活動、等
環境教育の実施	従業員の環境への関心を高める

【4】主要な環境活動計画の内容

(1) 数値目標を達成するための取組

① 電気使用量削減

- 節電への取組強化(節電の張り紙による意識向上、昼休憩時消灯、等)
- 冷暖房の室温管理
- クールビズ期間の拡大(6月～9月 → 5月～10月)

② 燃料使用量削減

- 効率的な燃料の使用
- エコ運転の推進
- 冷暖房の室温管理(都市ガス)
- クールビズ期間の拡大(都市ガス)

③ 紙(コピー用紙)の使用量削減

- 電子文書会議導入(i-pad導入)
- ITやデータによる管理推進
- コピー削減の努力
- 裏紙使用の推進

④ 水道水の使用量削減

- オフィスでの節水活動推進
- 車両洗車時の節水

⑤ 産業廃棄物排出量の削減

- マニフェストの完全運用
- 管理台帳の作成
- 排出量削減の取組
- 分別再資源化の強化

(2) 数値以外の目標を達成するための取組

① グリーン購入の推進

- 事務用品(コピー用紙、ボールペン等)のグリーン購入対象商品の積極的購入

② 自動車廃棄部品の徹底管理

- 法規制・社内基準の順守
- マニフェストの保管

③ 環境関連法の順守

- 法規制・社内基準の順守
- 従業員及び関係者への教育

④ 化学物質管理の徹底

- 法規制・社内基準の順守
- 従業員及び関係者への教育

⑤ 拠点での社会貢献活動

- 事業所周辺の清掃活動
- エコキャップ運動への参加
- 地域密着型拠点実現のため地域社会への環境活動
- 清掃ボランティア活動の参加

⑥ 環境教育の実施

- 年間教育に基づき教育を実施
- 環境会議の実施

【5】環境活動の取組結果と評価

(1) 実績

電気使用量のCO2排出係数：0.021(kg-CO2/kWh)

* 当社は地球環境に配慮し、CO2排出量の少ない自然エネルギー発電の電力会社より電力を購入しています。

* 全ての年度で上記係数を使用し二酸化炭素排出量を計算しています。

項目	単位	基準年度 (2013年度)	2014年度				
			削減目標	年間目標	実績	目標達成率	
電気使用量	kWh	2,515,441	1%	2,490,286	2,578,500	97% ×	
燃料	ガソリン	L	227,890	1%	225,611	226,947	99% ×
	灯油	L	2,929	1%	2,899	2,501	116% ◎
	軽油	L	37,349	1%	34,130	30,963	110% ◎
	LPG	kg	24,289	1%	24,043	22,329	108% ○
	都市ガス	m ³	135,112	1%	133,760	134,485	99% ×
紙(コピー用紙)	枚	3,927,500	1%	3,888,225	4,121,000	94% ×	
水使用量	m ³	21,593	1%	21,377	20,970	101% ○	
産業廃棄物	t	621.62	1%	615.40	714.88	86% ×	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,037,472	1%	1,027,081	1,019,115	101% ○	

判定記号：◎期待値より大幅に達成 ○期待値レベルの達成 ×未達成

○ 運転支援システム『EyeSight』装着車の販売を促進し交通事故削減に取り組みました。

・交通事故を減らす事で産業廃棄物の削減及び钣金修理に関わるCO₂排出の削減に繋がります。

2014年度実績:5,173台 (2013年度:4,327台) **前年比120%**

○ 2014年10月より、エンジンオイルライン洗浄システム『スラッジナイザー』を導入しました。

・エンジンオイルの性能を最大限に引き出す事で燃費の向上(ガソリン使用の削減)に繋がります。

2014年度実績:3,205台 (2014年からの取組の為、前年データ無し)



(2) 数値目標に対する取組結果と評価

① 電気使用量削減

○ 照明のLED化や無駄の削減を進めましたが、業務量増加のため電気使用量が増加してしまいました。

② 燃料使用量削減

○ 灯油、軽油、LPGの削減目標を達成する事ができましたが、ガソリンと都市ガスについては使用量削減したものの目標までは未達成となりました。原因としてはガソリンは借上車や試乗車の使用量増加、都市ガスはEHPエアコンからGHPエアコンに切り替えた事が考えられます。

③ 紙(コピー用紙)の使用量削減

○ ITによるペーパーレス化を進めましたが、一方で業務量の増加により紙の使用量が増加しました。

④ 水道水の使用量削減

○ 洗濯機の導入をしつつ更に無駄の削減を進めた結果、水使用量を削減する事ができました。

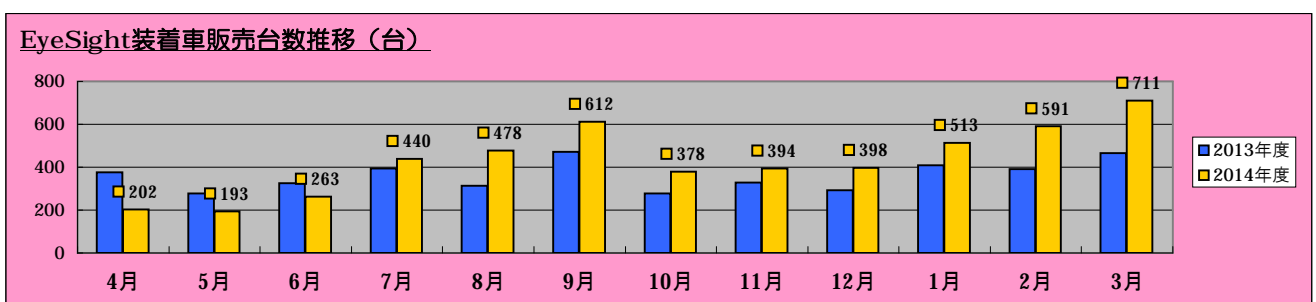
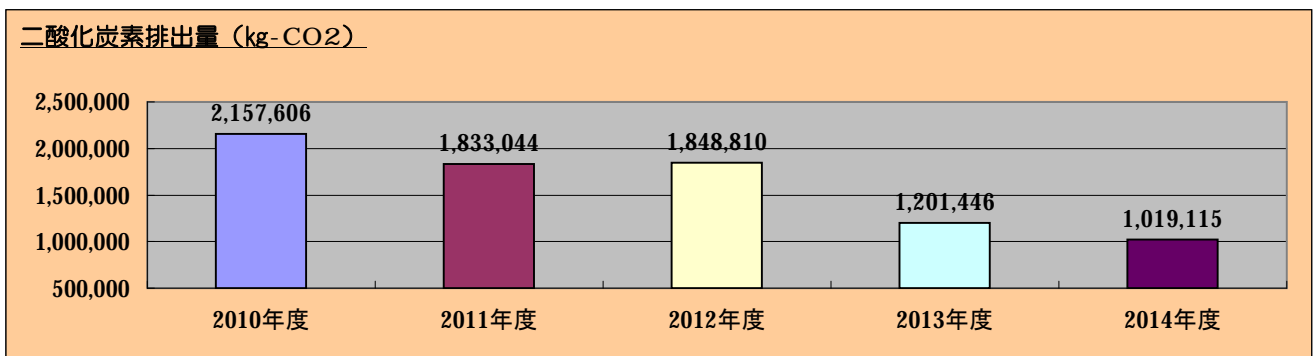
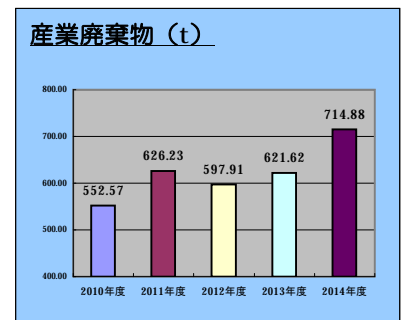
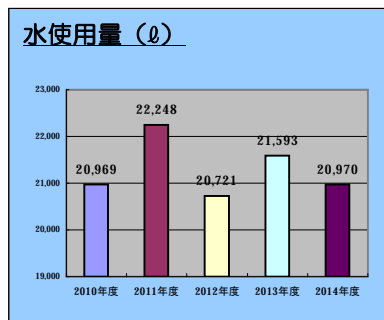
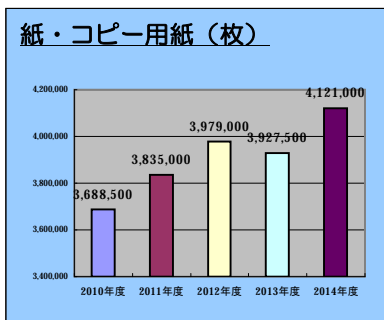
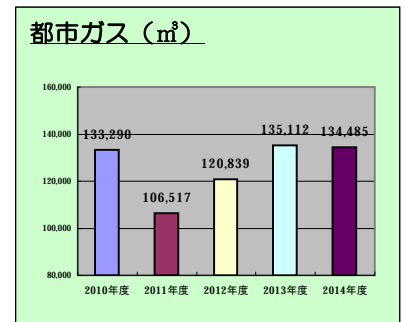
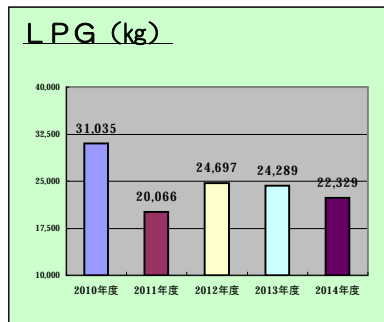
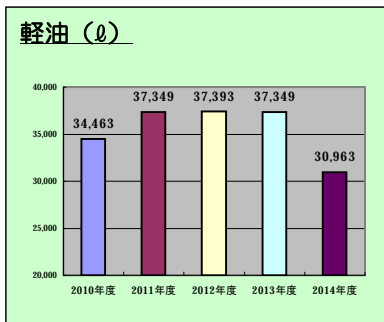
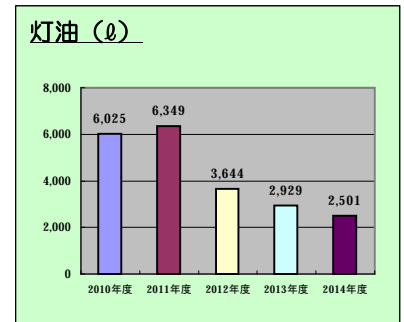
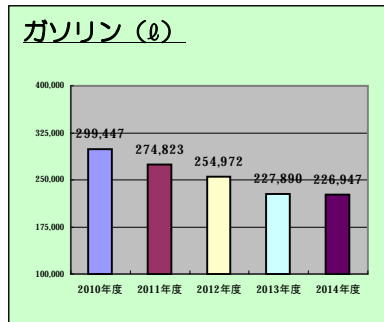
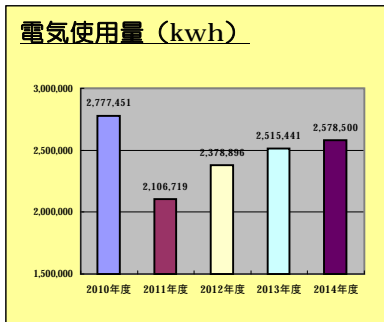
⑤ 産業廃棄物排出量の削減

○ 整備入庫台数が増加した為、産業廃棄物の排出量が増加しました。

⑥ 二酸化炭素排出量の削減

○ 燃料(灯油・軽油・LPG)が大幅に削減でき、また未達成項目も大幅に目標を下回っているわけではなく、結果的に二酸化炭素の削減目標を達成する事ができました。

【6】環境活動の成果



【7】環境改善活動・社会貢献活動

(1) 数値以外の目標に対する取組結果と評価

- ① グリーン購入の推進
 - 事務用品はグリーン購入対象商品を優先的に発注しております。
- ② 自動車廃棄部品の徹底管理
 - 使用済みバンパーのリサイクル手順は確立し、適切に処理をしています。
 - 廃バッテリーは適正に処理業者に引き渡しています。
- ③ 環境関連法規の順守、化学物質管理の徹底
 - 法規制だけでなく社内管理の基準も問題なく徹底出来ています。
- ④ 拠点での社会貢献及び環境改善活動の推進
 - 拠点周辺の清掃活動を定期的に行っています。《写真1》
 - 全拠点にエコキャップ回収BOXを設置。ペットボトルキャップのリサイクル化を推進しています。
キャップ800個でポリオワクチン1人分が購入でき、また6.2kgのCO₂が削減できます。
NPO法人エコキャップ推進協会に198,531個のキャップを送付しました。(2014年4月～2015年3月)
 - 2014年9月23日、幕張メッセにて実施した「エコメッセ2014」にハイブリッドカーを展示しました。《写真2》
 - 2014年10月8日に環境にやさしい設備を設置した鎌ヶ谷店移転オープンしました。《写真3》
 - 柏店にてチャリティバザーを開催。売り上げ金額をあしなが育成会に寄付する。《写真4》



《写真1》拠点周辺ゴミ拾い活動(市原店)



《写真2》エコメッセ2014にハイブリッドカーを展示



《写真3》鎌ヶ谷店新規オープン(鎌ヶ谷店)



《写真4》チャリティバザー開催(柏店)

- ⑤ 環境教育の実施
 - 環境教育の強化の為、3ヶ月に1度環境会議を実施しました。役員、部門長、EA21本社事務局が集まり定期的にEA21活動の進捗確認をしました。

(2) 次年度の取組内容

- ① 拠点毎に環境目標の達成・未達成を確認し、数値実績の更なる削減に努めます。
- ② ハイブリットカーやエコタイヤ販売の拡大を軸に、本来業務の環境保全活動に努めます。
- ③ 拠点周辺の清掃活動やエコキャップ回収運動、それ以外の社会貢献活動を強化していきます。
- ④ 環境にやさしい施設や設備の改修に力を入れていきます。

【8】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規(順守評価2014.04.30)

主な適用法規	要求事項	順守状況
水質汚濁防止法	特定施設の届出(自動車自動洗浄装置等)	○
浄化槽法	浄化槽設置の届出、年1回の定期検査の実施	○
下水道法	排水施設の設置義務、特定施設の届出	○
消防法	少量危険物貯蔵所の届出	○
フロン回収破壊法	特定製品が廃棄される際のフロン類の適正な措置	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約、 廃棄物の表示・保管管理、マニフェストの集計・報告	○
騒音規制法	特定施設の届出 (自動車自動洗浄装置、コンプレッサー等)	○
振動規制法	特定施設の届出 (自動車自動洗浄装置、コンプレッサー等)	○
化管法(PRTR法)	特定化学物質の排出量・移動量の把握と記録、 基準値以上の取扱量の場合に行政に報告	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	○
自動車NOx、PM法	自動車排出NOx及びPM排出抑制に必要な措置、届出	○
以下は千葉県、各自治体の条例		
各市環境保全条例施行規則	特定施設「圧縮機」の規制対象出力(上乗せ条例)	○
千葉県ディーゼル条例	特定自動車の粒子状物質減少装置の装着	○

(2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。

【9】代表者による評価と見直し

- エコアクション21の環境活動は、開始してから5年が経過し定着してきたが本来業務の導入拡大と交通事故の環境影響への取組み及びスケジュール管理をしっかりと行い、継続的に実施していくこと。
- 内部監査については、監査員によって差が出ないような仕組みと教育を行い、監査の質を高めていくことで、全体のレベルアップを図っていきたい。
- 全部門の全社員がエコアクション21の環境活動に、より一層深く携われるよう事務局と部門、拠点責任者の体制についても機動力あるものに再構築すること。